

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-135	高等学校	外国語	コミュニケーション英語基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コ基・303	ATLANTIS English Communication Basic		

1. 編修の趣旨、及び留意点

一 外国語を通じてコミュニケーション能力を総合的に育成するため、実際の言語使用場面や言語の働きに留意した。特に外国語を日常使用している人々にとって自然な表現であることに重きを置き、本書の英語に触れることで、生きた英語が身に着くよう意を用いた。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの基礎的・基本的な力を、繰り返し学ぶことで定着するよう構成した。

二 レッスンの主題となるトピックを入念に選定した。生徒の日常に身近な題材を選ぶことで、興味関心を高めることをねらいとする。また、多様なものの見方や考え方を養うとともに、公正な判断力が養えるような題材にも挑戦した。様々な価値観に触れることで、国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、また自分の意見を表現し、社会に参画できるような態度が育成できるよう工夫した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針とした。

- 一 言語の特性を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容とする。
- 二 多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりすることやペアワーク等で、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるよう留意する。
- 三 英語の実用性等を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育み、主体的に社会に貢献しようとする態度を養える内容とする。
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を育成するため、世界を舞台とした題材を展開することで、視野を広げることができるようにする。
- 五 進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選する。

3. 対照表

A.各レッスンの構成

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
タイトルページ	英語を通して幅広い知識と国際感覚が養えるよう意を用いた。(第1号)	各レッスン1ページ目
ウォームアップ	レッスントピックに深く関わる問題を厳選した。様々な価値観を学び視野が深まるよう意を用いた。(第2号)	各レッスン2～3ページ目
文法ページ	英語の言語の特性をできるだけシンプルに学べるよう意を用いた。(第1号)	各レッスン4ページ目(6ページ目)
リーディング	様々な題材に触れることで、国際感覚を養い、また他国を尊重し、国際社会についての視野が広がるような内容を厳選した。(第5号)	各レッスン5～6ページ目(5～7ページ目)
リスニング、表現とコミュニケーション	レッスンのトピックに関わる内容と、自分自身のことについて学べる内容をバランス良く配置した。ペアや3～4人のグループ、クラス全体で行う活動を通し、自他を尊重する態度を養えるよう意を用いた。(第3号)	各レッスン7ページ目(8ページ目)

B. 目次順にそった対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
アルファベット	辞書の使い方とアルファベットについて慣れ親しむ。アルファベットに慣れ親しむために、大文字と小文字を並べて記載した。また、辞書のページにはペーパー版の辞書と電子辞書の両方の使い方を紹介し、生徒にとってより身近な題材となるよう意を用いた。(1号)	見出し vi、 1～2 ページ
フォニックス 異なる発音	アルファベットの音読み、名前読みの違いを知る。日本語の漢字に音読み訓読みがあることと同じように、英語のアルファベットも1文字1音になるとは限らないことを、身近な語を例にしながら紹介した。(1号)	3 ページ
Classroom English	教室でよく使う表現についてまとめた。(1号)	4 ページ
Warm-up 1～4	母音と子音について学ぶ。生徒にとってより身近な単語、かつ実際の英語使用場面においてもよく使われる単語を厳選し構成した。(1号) 英文はすべて日常場面で用いられる自然な表現とした。(1号)	5～12 ページ
主語と述語動詞	本 Lesson に入る前に、英語の文の基本的なしくみについて復習する。(1号)	13 ページ

Lesson 1 – Where are you from? 世界中の人々と国々	世界全体に目を向け、それぞれの登場人物が出身国について尋ね合う。外国人と初めて対面した時によく使われる表現を学びつつ、日本人としてどのように答えるかについても学ぶ。日本人としてのアイデンティティが深められるよう意を用いた。(5号)	14～ 21ページ
Lesson 2 – This is my family. 家族と家族構成	今日の社会における様々な家族の形態を考慮し、生徒が自分自身の家族について、英語でも表現できるよう構成した。それぞれの家族の構成を尊重し合うことは個人の価値を尊ぶことにもつながる。(2号)身近なことをきちんと表現できることで自己肯定感等が深まるよう配慮した。(1号)	22～ 29ページ
Lesson 3 – We are going to take a trip. タイへの旅行	「タイに旅行する」ことを題材とし、旅先で起こり得る会話を想定した。(1号)また、日本以外の国に視野を広げることで、日本では当たり前に行っていることが必ずしも他国と同じではないことも学べるよう工夫した。(5号)	30～ 37ページ
Lesson 4 – How do you spend your free time? 趣味／珍しい趣味	生徒にとって身近な題材の1つである、「自分の好きなこと」について表現し合う。これは、外国人と円滑なコミュニケーションを行う上でも大切な表現力となる。生徒自らが、自分は何が好きであるかを知り、それを表現できることは、将来どんな職業に就きたいかなどに発展していくことを期待する構成とした。(2号)	38～ 45ページ
Lesson 5 – What do you do? 職業	前課で学んだことを土台に、この課では職業についてより深く考察する。世界を舞台に活躍する日本人を題材にすることで、職業観と英語を学ぶ意義を同時に考えられるよう意を用いた。(2号)	46～ 53ページ
Lesson 6 – What can I do to help? ボランティア活動 - 人々や地域に役立つ在り方	様々なボランティア活動を知り、また海外におけるボランティア感にも触れられるよう配慮した。3人の若者の意見を読むことで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育成しつつ、自分には何ができ、どのように社会に参画できるかを考えられるよう意を用いた。(3号)また環境保全や地域貢献などのボランティア活動にも興味を持てるよう工夫した。(4号)	54～ 61ページ
Lesson 7 – Holidays and Special Days アメリカと日本におけるクリスマス	アメリカにおける代表的な祝祭日についての知識を広げながら、日本人にとっても身近なイベントとなったクリスマスについて、その起源や意味、過ごし方について学べるよう構成した。(1号)	62～ 71ページ

Lesson 8 – Great Inventions 重要で有用な4つの発明	世界で発明されたものの中でも、特に生徒にとって身近な題材を取り上げ、そのエピソードを紹介した。いかに技術の進歩が素晴らしいかを知るとともに、発明に至るまでのアイデアを知ることによって創造性を培う大切さについても学べるよう意を用いた。(3号)	72～ 81ページ
Lesson 9 – Better than the Best デイベート	相手の意見を尊重しながら、自分の考えを伝えるにはどのように表現したらいいかについて学ぶ。(2号) 意見を述べることは日本人にとってはあまり得意なことではないかもしれないが、異なる意見を知り自分の考えを述べることもまた豊かな情操と道徳心につながっていくよう考慮した。(2号)	82～ 91ページ
Lesson 10 – Fairy Tales (Reading) 赤ずきんちゃん	日本人にとっても馴染みのある「赤ずきんちゃん」を英語で読むことに挑戦する。既存の知識が英語を通すことでより深まるよう意を用いた。(1号)	92～ 100ページ
Let's sing a song – Danny Boy, Deck the Halls 英語の歌	英語の歌や文化的背景に慣れ親しむ。英語の歌を通して、より英語学習に興味関心が持てるよう意を用いた。(1号)	101～ 102ページ
本書であつかう単語、表現の一覧	学習した内容への理解が深まるよう一覧化した。(1号)	103～ 104ページ
発音への手掛かり	発音を図と簡単な解説でイメージ化して学ぶ。図、写真、簡単な説明を使用し、できるだけシンプルにした内容の英文で発音指導ができるよう意を用いた。(1号)	105～ 106ページ

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

Lesson 2 – This is my family. 家族と家族構成	「家族と家族の役割について、基礎的な理解を学ぶ」ということについて、次のように解釈した。今日における様々な家族の形態や役割がある現状を踏まえ、これまであまり触れてこなかった義父母兄弟や離婚のことについて書き、一步踏み込んだ題材にした。地域によって差はあるものの、学級内の3分の2は母子父子家庭であるという現状を踏まえると、そういった生徒たちはこれまで本来の自分の家族の形態をきちんと表現できぬままいたのかもしれない。それは、自分のアイデンティティにも強く関与していくことでもあり、また他者への理解にもつながることだと考える。この題材を通して、違いを認め合い、自分自身に自信が持てるよう期待してこの題材を選んだ。(学校教育法第二章四)	22～ 29ページ
---------------------------------------	--	--------------

Lesson 6 –What can I do to help? ボランティア活動 - 人々や地域に役立つ在り方	海外におけるボランティア精神についての正しい知識を広げ、公共の精神に基づき、自分自身が主体的に社会と参画し行動できるよう意を用いた。(学校教育法第二章一)	54～ 61 ページ
Let's sing a song –Danny Boy, Deck the Halls 英語の歌	英語の歌を通して、その文化的背景や言語の特性等を理解できるよう意を用いた。(学校教育法第二章九)	101～ 102 ページ

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-135	高等学校	外国語	コミュニケーション英語基礎	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コ基・303	ATLANTIS English Communication Basic		

1. 編修上特に意を用いた特色

特色1・繰り返しによる学習。

基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりを持てるよう意を用いた。例えば、トピックに関する事項や問題がレッスン全体に渡ること、語彙を少しずつ紹介し、本文では新しい文章の中に組み込まれること、重要文法事項が本文に1度だけではなく、何度も出てくるよう、かつそれが外国語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに留意した。

特色2・段階を追った発展的な問題。

学んだ内容を、個人からペアワーク、3～4人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるような構成とした。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くよう、またその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮した。

特色3・継続的な学習意欲の育成。

自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が強まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界の人々やその世界観をふんだんに味わうことができるような構成とした。視覚に訴える写真、図、題材、問題等が、学習意欲を継続させることを期待する。

2. 対照表

A. 各レッスンにおける構成とその対照表（1レッスンにおける授業時数）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
タイトルページ	内容の取扱い 中学校における学習の接続と「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習への円滑な移行のため、主に身近な場面における言語活動を経験させながら、中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。	各レッスン 1 ページ目	1
ウォームアップ	内容(1)[中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)ア、イ] 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第	各レッスン	

	<p>2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。</p> <p>内容の取扱い 中学校における学習の接続と「コミュニケーション英語I」における学習への円滑な移行のため、主に身近な場面における言語活動を経験させながら、中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。</p>	2～3ページ目	
文法ページ	<p>内容(2)[中学校学習指導要領第2章9節の第2の2の(2)のア] (1)に示す言語活動を効果的に行うために、それぞれの生徒の中学校における学習内容の定着の程度等を踏まえた上で、中学校学習指導要領第2章9節の第2の2の(2)のアに示す事項を参照しつつ、適切に指導するよう配慮するものとする。</p>	各レッスン 4ページ目 (6ページ目)	1 (2)
リーディング	<p>内容(1)[中学校学習指導要領第2章9節の第2の2の(1)ウ] 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。</p> <p>第2節 内容の取扱いにあたっての配慮事項(1)、(2)</p>		3
リスニング、表現とコミュニケーション	<p>内容(1)[中学校学習指導要領第2章9節の第2の2の(1)ア、イ、ウ、エ] 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。</p> <p>第2節 内容の取扱いにあたっての配慮事項(4)</p>	各レッスン 7ページ目 (8ページ目)	1
		計	6(7)

B. 目次順にそった対照表（年間指導時数）

※各レッスンについては、内容は上記の構成を取るため、ここでは主要文法項目のみを記載する。

（内容の取扱いにあるように、文法事項は中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
アルファベット	第2節 内容の取扱いに当たっての配慮事項（3） 辞書の活用の指導などを通じ、生涯にわたって、自ら外国語を学び、使おうとする積極的な態度を育てるようにすること。	巻頭vi、 1～2ページ	3
フォニックス 異なる発音	内容（1）[中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の（1）ア] 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の（1）に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。	3 ページ	
Classroom English	内容（2）[中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の（2）のアの（ウ）] （1）に示す言語活動を効果的に行うために、それぞれの生徒の中学校における学習内容の定着の程度等を踏まえた上で、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の（2）のアに示す事項を参照しつつ、適切に指導するよう配慮するものとする。	4 ページ	
Warm-up 1～4	内容（1）[中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の（1）ア] 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の（1）に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。	5～12ペー ジ	2
主語と述語動詞	内容の取扱い 中学校における学習の接続と「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習への円滑な移行のため、主に身近な場面における言語活動を経験させながら、中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。	13ページ	1

Lesson 1 – Where are you from? 世界中の人々と国々	主語と述語動詞（現在形） 現在形の Yes / No 疑問文	14～ 21 ページ	6
Lesson 2 – This is my family. 家族と家族構成	人称代名詞の所有格 過去形、過去形の	22～ 29 ページ	6
Lesson 3 – We are going to take a trip. タイへの旅行	未来形（be + going to + 動詞の原形） 助動詞、WH 疑問文	30～ 37 ページ	6
Lesson 4 – How do you spend your free time? 趣味 / 珍しい趣味	動名詞	38～ 45 ページ	6
Lesson 5 – What do you do? 職業	不定詞	46～ 53 ページ	6
Lesson 6 – What can I do to help? ボランティア活動 - 人々や地域に役立つ在り方	that(Have you ever?) 節	54～ 61 ページ	6
Lesson 7 – Holidays and Special Days アメリカと日本におけるクリスマス	形容詞の働きをする分詞	62～ 71 ページ	7
Lesson 8 – Great Inventions 常用で有用な4つの発明	受け身 現在完了形(Have you ever?)	72～ 81 ページ	7
Lesson 9 – Better than the best ディベート	比較級 最上級	82～ 91 ページ	7
Lesson 10 – Fairy Tales (Reading) 赤ずきんちゃん	関係代名詞	92～ 100 ページ	7
Let's sing a song – Danny Boy, Deck the Halls	内容(1) [中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)ア] 1の目標に基づき、中学校学習指導要領第2章第9節の第2の2の(1)に示す言語活動を参照しつつ、適切な言語活動を英語で行う。	101～ 102 ページ	適宜
本書であつかう単語の一覧	内容の取扱い 中学校における学習の接続と「コミュニケーション英語I」における学習への円滑な移行のため、主に身近な場面における言語活動を経験させながら、中学校における基礎的な学習内容を整理して指導し定着を図るものとする。	103～ 104 ページ	適宜
発音への手掛かり	第2節 内容の取扱いにあたっての配慮事項(2)	105～ 106 ページ	適宜

	音声指導の補助として、発音表記を用いて指導することができること。		
		計	70